

カバヤ食品株式会社 環境自主行動計画 & 2018年環境レポート



発行:カバヤ食品株式会社
品質管理部 ISO推進室

1. カバヤ食品株式会社の概要

本社及び岡山工場 所在地

〒709-2196 岡山県岡山市北区御津野々口1100番地

東京本社

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル10階

関東工場 所在地

〒319-2404 茨城県常陸大宮市国長400

事業所 支店全 7箇所

活動 : チョコレート、キャンディ、グミ、焼き菓子、清涼菓子、素材菓子、玩具菓子などの菓子の製造・販売

- 1946年 キャラメル・キャンディの製造開始
- 1951年 販売量の拡大に伴い、カバヤ販売(株)を設立、販売部門を独立させ全国に販売網を設置開始
- 1960年 インスタント食品、粉末ジュースの製造開始
- 1963年 ガム並びにチョコレートの製造開始
- 1964年 清涼菓子、ジューCの製造開始
- 1972年 カバヤ販売(株)を吸収合併
- 1975年 マスカットキャンデーの製造開始
- 1978年 玩具菓子の製造開始。仏マジョレット社と提携し、ミニカーの販売開始
- 1983年 カバヤ第一食品(株)を吸収合併し、大阪工場とする
- 1984年 関東工場を建設、本格的なチョコレートメーカーとしての体制を作り、菓子総合メーカーとなる
- 1988年 CI導入
- 1990年 グミの製造開始
- 1991年 岡山工場を現所在地に新築移転、同時に関東工場を増設
- 1995年 新人事制度を導入
- 1996年 創業50周年
- 2000年 岡山工場へ焼菓子ラインを新設
岡山工場、関東工場ISO14001認証取得
- 2004年 岡山本社工場に工場見学施設「カバヤライブラリー」開設
- 2005年 岡山工場、岡山第二工場、関東工場、大阪工場、企画一部ISO9001認証取得
- 2006年 創業60周年記念事業として「カバ車」を復刻
- 2011年 創業65周年記念事業として「カバ車・ガールフレンド」を製作
カバ車2台の名称を「クッキーくん」、「チョコちゃん」に決定
関東第二工場を新設
- 2012年 関東第二工場「工場見学」受け入れ開始
- 2014年 大阪工場の設備を、岡山工場、関東工場・関東第二工場へ移設し、大阪工場を閉鎖
- 2016年 カバヤ・オハヨーグループの持ち株会社として「日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社」が設立
東京紀尾井町にカバヤ・オハヨーグループ新オフィスを開設

2. カバヤ食品株式会社 環境自主行動計画

策定日 2018年4月1日

〈環境方針〉

カバヤ食品株式会社は自然の恵み豊かな環境の中で、多種の菓子生産を行っています。これらの事業活動が環境に影響を与えていることを深く認識し、以下の方針に基づき環境保全、保護活動を実施します。

- ① 当社の事業活動、製品・サービスが環境に与える影響を的確に捉え、環境マネジメントシステムを構築、実施し、環境汚染の予防などを推進すると共に、環境マネジメントシステムの有効性を継続的に改善します。
- ② 関連する環境法令、その他の受け入れを決めた要求事項を順守します。
- ③ 当社の活動、製品、サービスに関し、以下の項目について継続的に改善します。
 - 1) エネルギーの使用削減に努める。
 - 2) 天然資源の使用削減に努める。
 - 3) 工場から出る廃棄物の削減に努める。
 - 4) 地球温暖化防止につながる活動に努める。
- ④ 以上の項目について目標を設定し、その目標達成に努めます。

1. 環境方針を組織内の全従業員に周知するように努める。
2. 環境方針を定期的に見直し、適切性を維持する。

〈数値目標〉

- ・各工場におけるエネルギー消費原単位を前年度比 1%低減する。
数値目標を定め省エネ対策を実施する事により、会社全体の省エネ活動を普及啓発していく。

〈実施対策〉

- ・高効率空調設備・高効率ボイラーの導入。
- ・照明の節電：昼休み・休み時間の消灯、不要な照明の休止。
- ・空調機(暖房・冷房)の節電。
- ・パソコンなどのOA機器の節電。
- ・エアーコンプレッサーの運転の効率化、漏れ対策の実施。
- ・吸収冷凍機の休日停止を計画的に実施。
- ・機器の稼働時間削減を実施、稼働シフトの見直し。
- ・岡山工場の屋上屋根へ井水(地下水)の散水を実施。

〈省エネルギー以外について〉

- ・省資源(事務用紙・水)・廃棄物(廃プラ・食品廃棄物)削減、廃棄物のリサイクル処理の推進、その他の環境保全・保護活動の推進。

3. 2018年環境負荷の実績

入力（製品の製造等に使用）：岡山工場、関東工場

原料	20,915	ト
材料	4,910	ト

電力	1,675	万kWh
LPガス	2,795	ト

水	160,145	ト
---	---------	---

総合エネルギー (原油換算)	7,966	(kL)
-------------------	-------	------

製品量(生産金額) 16,205トン(232.2億円)

排出物（業務で発生する不要なもの）：岡山工場、関東工場

廃棄物（合計）	1623.1	ト
食品廃棄物	611.4	ト
紙類	370.6	ト
汚泥	334.8	ト
金属くず	101.1	ト
廃プラスチック	121.5	ト
その他 (木くず、ガラス等)	83.7	ト

温室効果ガス 大気排出 CO ₂	17,681	ト
-----------------------------------	--------	---

汚水、騒音、なども発生
⇒環境負荷を軽減、
法規制順守

カバヤ食品ではチョコレート、キャンディ、グミ、焼き菓子、清涼菓子、素材菓子、玩具菓子などの製造をしています。

製品の製造に使用するエネルギー、原料・資材、水等の節減 及び製造で発生する廃棄物の削減、リサイクルを推進しています。リサイクルは食品廃棄物の肥料化・飼料化、紙類の古紙原料化、プラスチックゴミの燃料化、原料化などを実施し、環境負荷の軽減に取り組んでいます。

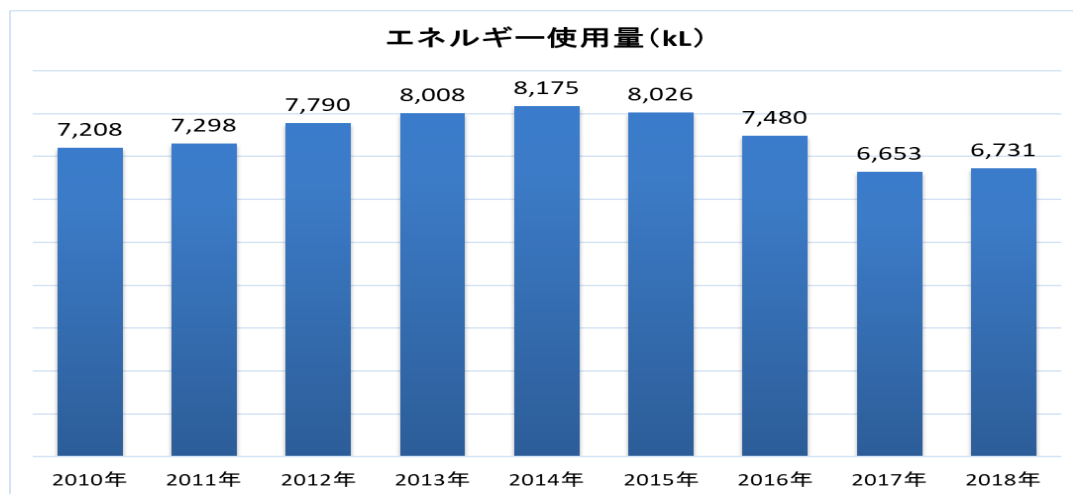
社員は省エネルギー、温暖化防止、省資源、廃棄物の削減などの環境負荷軽減のために環境改善、保全、保護活動に積極的に取り組んでいます。

4. 環境活動

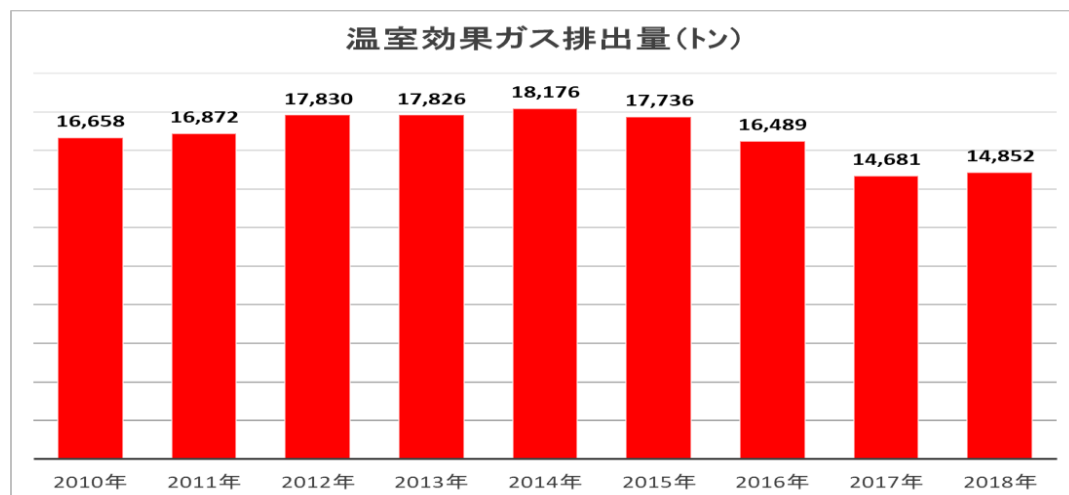
4-1 エネルギー及び温室効果ガスの実績

エネルギーは「電力」、「LPガス」を主に使用しています。
省エネルギー及び温室効果ガス削減対策として省エネ設備への更新(LED照明への変更等)と「A重油」の使用停止、または休憩時間の消灯、空調機(冷房・暖房)の温度管理などを実施しています。
また、従業員に対して省エネルギー、温室効果ガス削減対策を周知・伝達し、環境活動への意識向上をはかっています。
年度別の 実績を以下に示します。各年度は4月～3月の実績です。

- 岡山工場・関東工場のエネルギー使用量(原油換算) 年度別(4月～3月) 実績



- 岡山工場・関東工場の温室効果ガス排出量 年度別(4月～3月) 実績



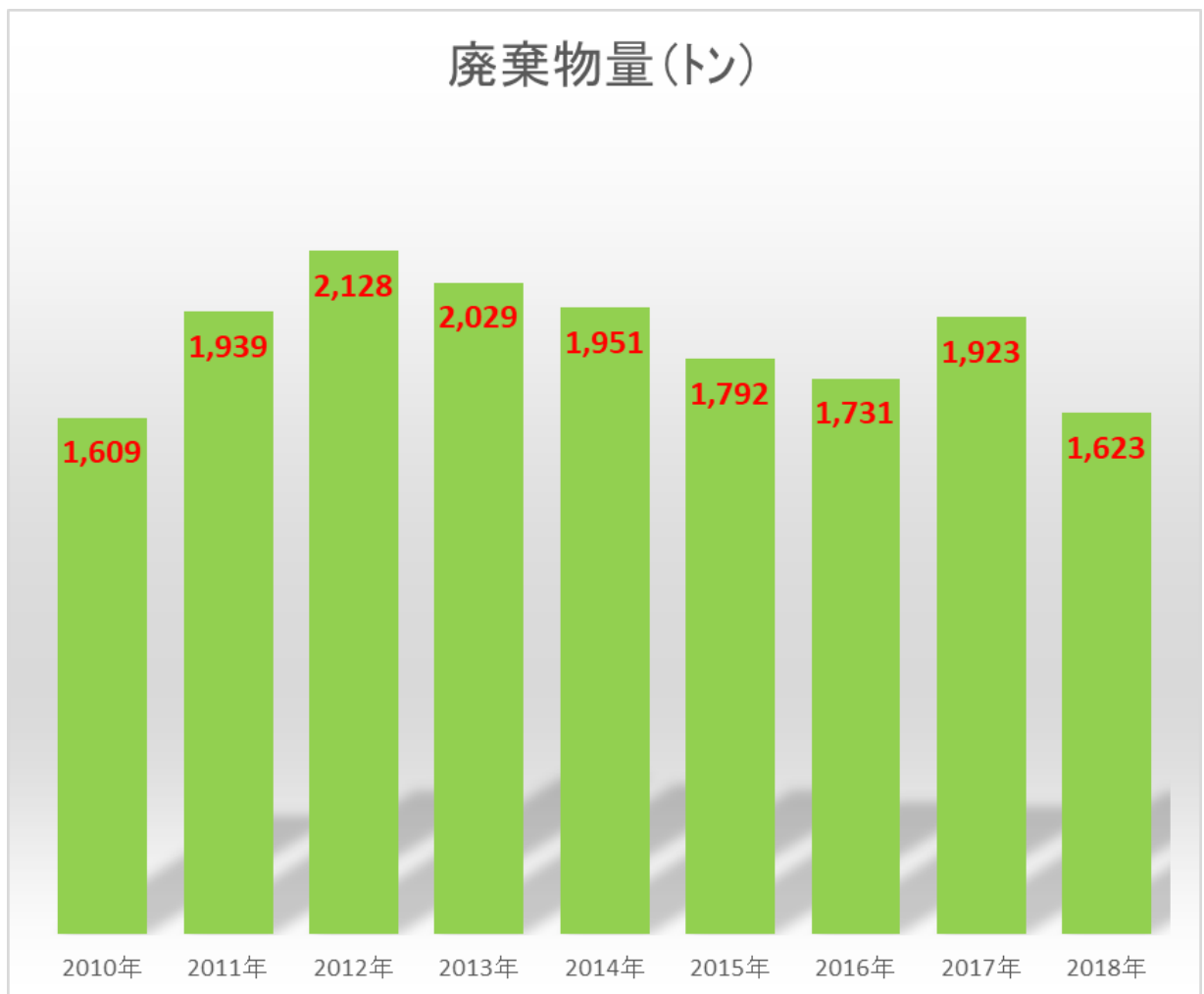
4-2 廃棄物の削減とリサイクルの実施

製品の製造・包装作業時の不良品削減などに取り組むことで、動植物性残さ(菓子・原料くず)、廃プラスチック、紙類などの廃棄物の発生抑制を実施しています。

同時に発生した廃棄物は、分別を徹底し、焼却・埋立処理となる廃棄物を削減し、リサイクルを推進して、資源活用、環境負荷の低減を実施しています。

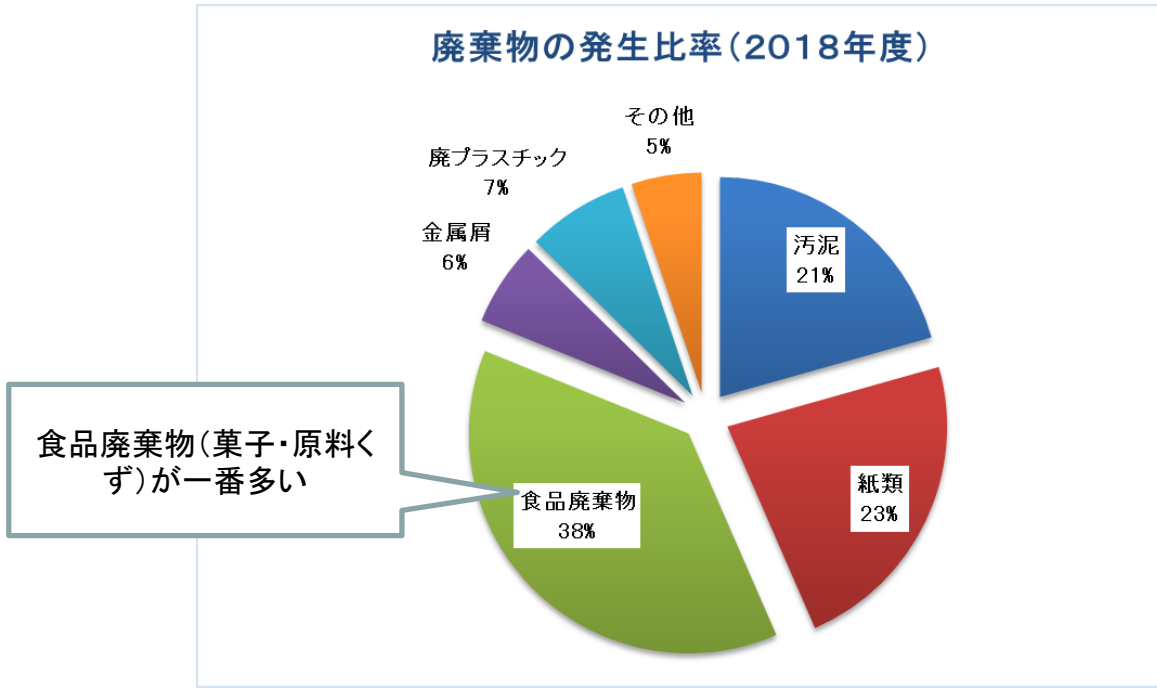
発生する廃棄物の年度別発生量は下図の通りです。
各年度の実績は 4月～3月の実績です。

●岡山工場・関東工場の廃棄物発生量 年度別実績 (4月～3月)

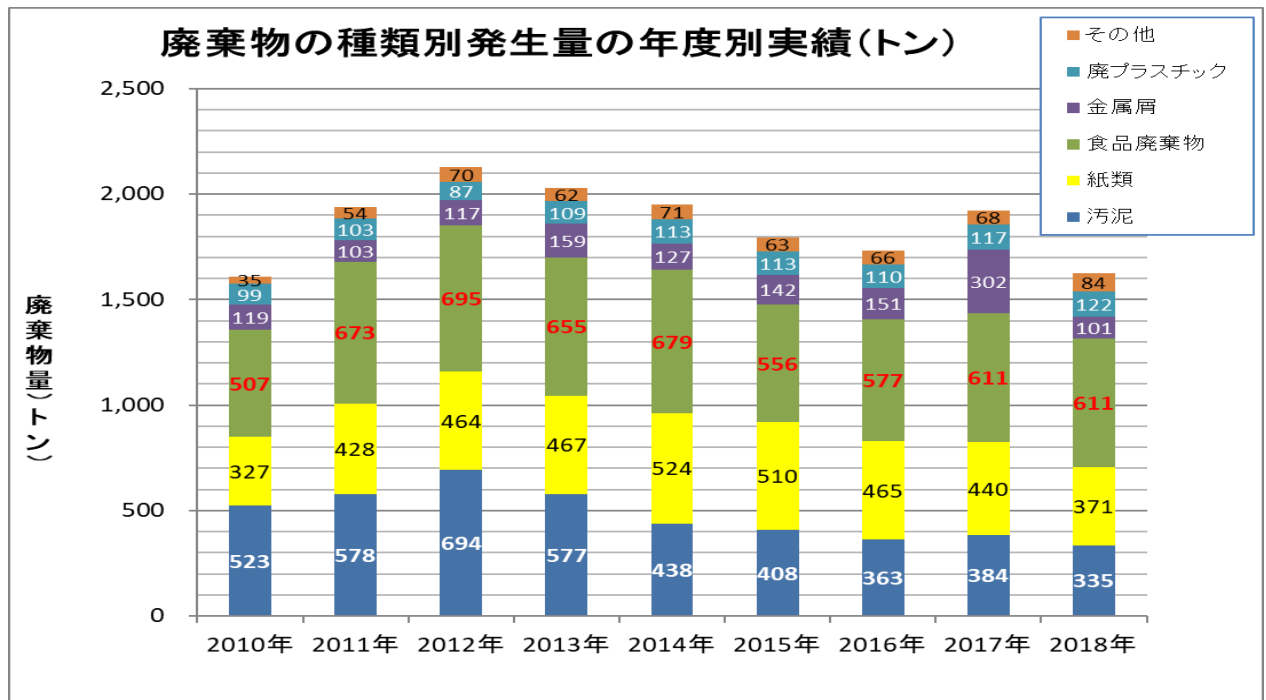


●廃棄物の種類別の発生率(2018年度)

●岡山工場・関東工場の2018年度の廃棄物の種類別発生比率



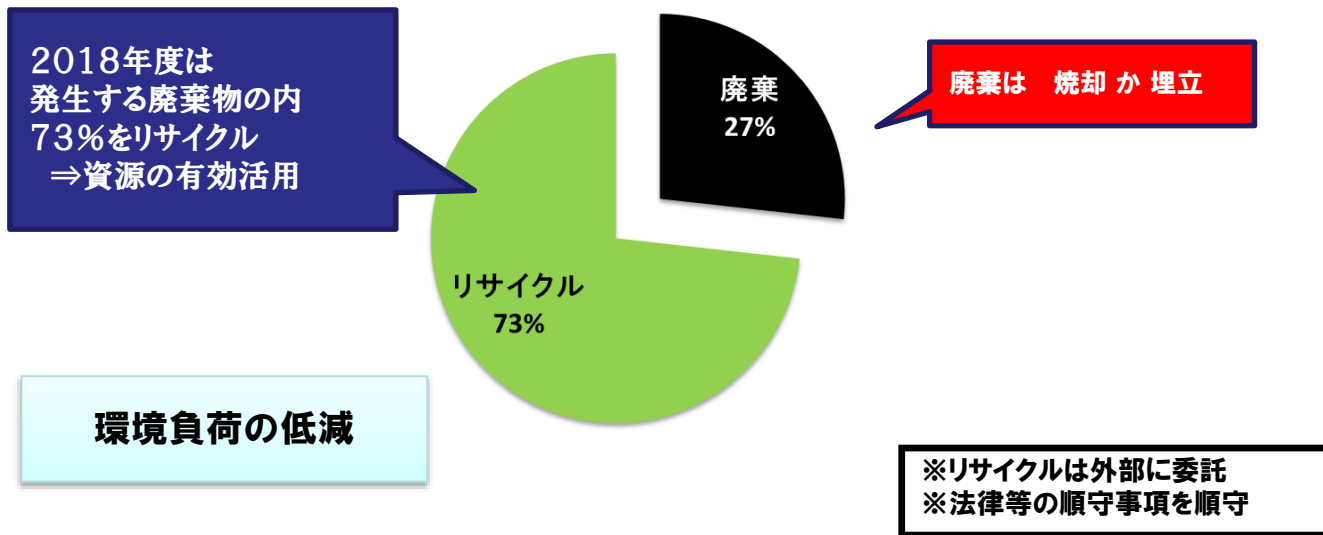
●岡山工場・関東工場の年度別の廃棄物の種類別発生量の推移



●廃棄物のリサイクル実績

発生する廃棄物は、リサイクル（資源の有効活用）を推進し、廃棄処分を削減している。

廃棄物の処理方法の比率(2018年度)



●廃棄物のリサイクル内容

リサイクルを推進し、廃棄削減、環境保全・保護を推進している。

